

特集

「読む、書く、話す」で
教育力の充実を「読む、書く、話す」を教員が学ぶこととは 戸田山和久
教育力 UP のために「読む、書く、話す」研修の充実を

福岡公香

教員という立場から、自ら学んだ「読む、書く、話す」を
見直す 古都昌子

「読む、書く、話す」を学んでみて考えたこと 日下部華苗

「読む、書く、話す」力を衰えさせないための視点

山口みのり

さまざまな場で学んだ「読む、書く、話す」を教育現場に
活かすために 鈴木由紀子

【第2特集】

言葉の力

医療の言葉への危惧と応援 外山滋比古

看護師が言葉を磨くこと 小玉香津子

学ぶとは、言語を身につけ変身すること 千葉雅也

【対談】身体知と言語の奇妙な関係 諏訪正樹／大谷則子

編集後記

●授業研究を弊誌で取り上げようと考えたきっかけは、長年取材で参加している学会・研究会にありました。1つは、教育者が研究するのなら、対象はまず自分ではないのか、と思ったこと。教育の成果を学生に求めるのは当然ですが、その成果を生み出す教員自身を見つめ直すことが、まず先決ではないかと感じたのです。もう1つは、その自分を見つめ直すリフレクションの報告に、改善結果の続報が減多にないと感じたこと。もちろん、発表後にリフレクション結果を取り入れて授業は改善されているのでしょうか、その結果どうなったのかが発表されず、情報共有がされないということが非常にもどかしかったのです。●8月発刊予定の『授業が変わる！ 学びが深まる！ 看護教員のための授業研究』を読んで、授業研究を行って学会などで発表する読者が増えることを願っています。

……大野

●これから看護サミットに行きます。地域包括ケアを支える人材育成、看護基礎教育の4年制化、指定規則の改正、医療、介護・福祉の資格取得に必要な基礎教育課程の一部共通化、大学ではモデル・コア・カリキュラム、国家試験出題基準など、看護基礎教育は変革の話題がもりだくさん。なんだかおなかいっぱいになりそうですが、本誌でも随時情報をお届けしていきます。とはいえ、これほどのネット社会になれば、速報的な内容は月刊誌として意味があるのか、という疑問も……。さらに深く、変革の背景の狙いや考えなど、しっかりお届けする雑誌でありたいと思います。●そして行ってききましたが、看護基礎教育の変革への強い思い、とても熱いものを感じました。

……番匠

◎編集室ツイッター

<http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

看護教育 第58巻 第7号 2017年7月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2017, Printed in Japan

(1部) 定価: 本体1,500円+税

2017年・年間購読料(増大号を含む12冊): 冊子版15,540円, 冊子+電子版/個人18,540円, 電子版/個人15,540円(いずれも+税, 送料弊社負担)

発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL: 03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776 メールアドレス: kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当: 番匠・大野・早田

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/17/紙: ¥500/電子: ¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は、株式会社医学書院の登録商標です。

Vol.58 No.6

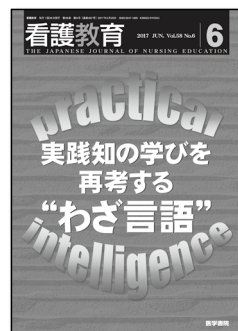
2017 年 6 月

特集

実践知の学びを再考する “わざ言語”

「看護とはサイエンスでありアートである」と言われてきました。これは、もう古い、意味をなさない言葉でしょう。看護基礎教育の「技術教育」は、戦後、看護技術をサイエンスとして、看護師全員の普遍的な技術の獲得をめざしてきました。そのために、卓越した実践である「技能」を、科学的言語で記述し、それを反復によって習得していくモデルに依って来ました。この考え方は、講義や学内で習った「基礎」を段階的に積み上げることによって、実習現場、あるいは卒後に「活用」することをめざすものです。実際の教育現場でも、そのようにカリキュラムとして段階的に学ぶよう構成された知識や科学的な手順を、学生が看護実践に結びつけられない、という悩みが頻出しているようです。こうした悩みの背景の仮説として、看護のアートの部分が不十分と考えられるのではないのでしょうか。今回の特集である「わざ言語」は、まさに上記のサイエンスの形式の学びについての疑問から、伝統芸能や楽器演奏、スポーツなど、身体をともなうアート“わざ”の伝承、学びに着目するものです。看護という“実践知”を学ぶとはどういうことか。看護はサイエンスでありアートである、という考えから、現在の技術教育の問題点にふれ、より良い知の伝承をめぐるヒントとなれば幸いです。

- 「わざ言語」という問い……生田久美子
- わざ言語が看護教育にもたらすインパクト……前川幸子
- 臨地で学生と共有される実習指導者の感覚と看護のわざ……原田千鶴
- 【対談】マイムにたずねるアートの知と伝承……奥野衆英／前川幸子



Vol.58 No.5

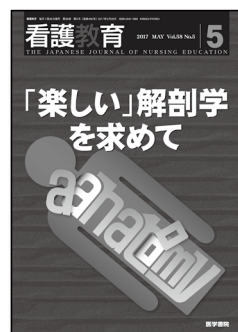
2017 年 5 月

特集

「楽しい」解剖学を求めて

身体の構造がわからなければ、なんの医療的ケアもできないといっても過言ではありません。ですから、解剖学が医療を学ぶうえで最重要科目の1つであることに間違いはないでしょう。しかし、特に看護教育においては、身体を侵襲するような演習や、身体の内部構造を直接見て学ぶという機会がほとんどないこともあり、「知識の記憶のみが強いられるつまらない科目」と思われがちです。記憶しなければならぬ膨大な情報を減らすことはできませんが、他の科目同様、教員の工夫次第でその記憶作業を少しでも「楽しく」することは可能でしょう。ただし、それには教員自身が解剖学を理解する必要があります。解剖学の教授は医師に委ねられることが多いため、看護教員が直接教育に携わる機会は多くありません。しかし、専門科目として教えることはなくとも、看護のなかの解剖学として教えることはできるはずです。本特集では、看護教員自身が解剖学に対して楽しみを見出しながら、学生の教育にあたる方策について提案します。自分が「つまらない」と思うものは、「楽しく」教えることはできません。看護教員自らが、「楽しく」学べるよう、解剖学を変えていけることを願っています。

- 教員が解剖学を楽しめなければ、学生が楽しめるわけがない！……藤井徹也
- 自らが教えるために学んだ経験から解剖学のおもしろさを考える——形態機能学の講義をととして……金子喜代美／水澤晴代
- 看護技術の研究をととして解剖学の楽しみ方を探る……原好恵
- 解剖学で「人」を知るのはおもしろい——美術解剖学の魅力……阿久津裕彦



【2017 年 4 月号 (Vol.58 No.4)】

思考にきく発問

【2017 年 1 月号 (Vol.58 No.1)】

教える力を養うための
継続研修を

【2017 年 3 月号 (Vol.58 No.3)】

学生のセクシュアリティに
向き合う

【2016 年 12 月号 (Vol.57 No.12)】

身体知をリベラルアーツに

【2017 年 2 月号 (Vol.58 No.2)】

キャリアを支援する赤十字看護
専門学校教員ラダー

【2016 年 11 月号 (Vol.57 No.11)】

使える「患者役」になろう！

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2015 年 5 月号 (Vol. 56, No. 5) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.toabook.com/>)
- 2015 年 6 月号 (Vol. 56, No. 6) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願います。